

イノシシ 骨製品

■ 出土地：高嶺遺跡（うるま市宮城島）

「まいコレ」では、収蔵庫に眠るイチ
押し出土品を、月替わりでご紹介。

2019年の幕開けは、今年の干支「亥」
にちなんだ製品を紹介します。

この骨製品は、うるま市にある宮城島の^{たかみね}高嶺遺跡から出土したものです。高嶺遺跡は標高約120mにあり、縄文時代の^{たてあな}大規模な集落跡が見つかっています。なかでも、^{きょうかい}集落の境界となる石積み^{いこう}遺構がみられる貴重な遺跡です。

その^{あな}竪穴住居跡からは、その形状から道具として用いられる実用品と身を飾る装飾品と思われるイノシシの骨製品が見つかりました。実用品としては^{ひこつ}腓骨を用いた^{こっしん}骨針と^{けいこつ}脛骨を用いた^{こっすい}骨錐のほか、足の長い骨を^{ばんじょう}盤状に加工した、へら状製品があります。また、装飾品としては、^{かかく}左下顎の犬歯の基部と先端部に孔をあけたものがあります。おそらくペンダントにしたと思われます。

